

簡易公募型指名競争入札のお知らせ

下記の案件について、簡易公募型指名競争入札を行いますのでお知らせします。参加を希望される方は、宇治市公募型指名競争入札(見積)実施要領、宇治市競争参加業者選定基準及び運用基準、宇治市競争入札心得を熟読、承知のうえ、参加を申し込んで下さい。

令和 7年12月12日

宇治市長 松村 淳子

(担当課：契 約 課)

記

業務名	学校給食管理システム導入業務		
業務場所	宇治市教育委員会 他		
委託期間	令和8年1月28日 ～ 令和8年3月31日 63日間		
業務概要及び条件	学校給食管理システム導入業務		
予 定 価 格	¥2,695,000 (税込)	最低基準価格	¥1,886,000 (税込)
入札参加者に必要な資格・条件			
次の①～②の全てを満たすこと ①参加資格者名簿登録 ②学校給食管理システム導入業務実績（元請、過去10年以内、地方公共団体発注）			
入札参加表明書の受付			
提出期限 令和7年12月18日(木) 午後 5時 00分 まで 提出場所 郵便入札 添付資料 別紙参加表明書に記載のとおり			
入札予定	予定日 令和8年1月21日(水) 場 所 宇治市役所 本館8階 大会議室		
前 払 金	無	部 分 払	無
消費税の扱い	消費税及び地方消費税を含んだ金額で行うこと		
そ の 他	本件はランダム係数を用いた最低制限価格を適用しますのでご注意ください。 本件は郵便による入札を実施します。別紙「説明会に替えて連絡する事項」を熟読してください。		

説明会に替えて連絡する事項

- ・本案件に係る質疑の受付は、次のとおりとします。
令和7年12月12日（金）午前9時から
令和7年12月25日（木）午後5時まで
- ・お知らせの入札（見積）予定は、開札予定となります。入札書（見積書）提出については、指名通知時にお知らせする指定期日（持参の場合は提出日）を厳守してください。
- ・郵便入札について、不参加により指名停止は行いません。
- ・封筒の雛形は、契約課ホームページ「様式等ダウンロード」よりダウンロードしてご使用ください。
- ・「郵便入札にあたっての注意事項」及び「宇治市郵便入札の応募案内」を熟読してください。宇治市ホームページ（<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/27/55607.html>）に掲載しています。
- ・入札、契約等に係る連絡はメールで行っており、競争入札等参加資格審査申請の際に記入いただいたメールアドレス（申請後に変更の届出をしている場合はそのメールアドレス）に送信します。新たにメールアドレスを登録される場合や他のメールアドレスに変更を希望される場合は、競争入札等参加資格審査申請事項変更届を契約課に提出してください。

予定価格を超過して入札した者の取扱いについて

- 本件の入札において予定価格を超過して入札をした者は、本件の落札者が決定せず、再発注を行う際には指名しない場合があります。
- 入札辞退者に不利益を課すことはありません。

仕様書

1. 委託業務名
学校給食管理システム導入業務
2. 委託期間
契約日から令和8年3月31日まで
3. 委託場所
宇治市教育委員会および笠取小学校・笠取第二小学校を除く市内各小学校20校
4. 業務概要
小学校及び中学校で給食の提供を適切に行えるように、献立管理・食数管理・発注管理・帳票管理等ができ、学校間と教育委員会でデータ共有を行えるシステムを導入する。
5. 支払い方法
業務完了後、請求に基づき一括で支払うこととする。
6. その他
仕様書に記載のない項目については、別途協議することとする。

別紙1 システム概要及び詳細仕様

1. 基本仕様

- ①学校給食センターや複数の単独調理場の栄養管理に必要な機能を標準実装し、汎用性の高いパッケージシステムであること。
- ②使用者が容易に操作できる画面レイアウト及びインターフェイスであり、ユーザー側の操作にてデータの登録や削除等整合性を損なわず行える構造であること。
- ③登録や削除処理時に人為的ミス（誤登録・選択矛盾など）を注意喚起する確認・排他メッセージやアラート表示機能があること。
- ④必要最小限の設定を行うことで、データ整備やテスト稼働が行える仕様であること。
- ⑤将来想定される新バージョンへの変更時に費用負担なくデータの継承が可能であること。
- ⑥Windows パソコン（親機）及びサーバOS 搭載機に一元管理されたデータを共有したネットワーク運用が可能であること。
- ⑦複数の端末から同一施設データへの作業（異なる月の献立登録・発注編集など）が行えること。
- ⑧管理者・利用者についてユーザー名とパスワードで管理でき、パスワードを任意に設定・変更できること。
またログインユーザごとに処理できる業務を設定できること。
- ⑨定期的なバックアップ取得やインストールメディアを用いたアップデート作業が使用者側の都合で容易に行えること。
- ⑩システムを利用するために必要となるサーバ機へのデータベース構築費用、セットアップに係る費用、及びサポートに係る費用、システム納入後から令和8年3月31日までの間の保守に係る費用を含むものとする。ただし、システムを稼働させるためのサーバ機器、各PC、サーバ端末間のネットワークの環境作成については別途、本市にて調達を行う。

2. サポート・保守仕様

- ①所定時間帯内にてシステムを熟知した専用窓口・栄養士等への問合せが可能であること。
- ②保守の継続加入により、食品成分表などの改訂や最新OS 版に対応した新リビジョン及びバージョン商品パッケージの提供が原則無償で行われること（専用帳票カスタマイズなどは除く）。
- ③システム及びデータ障害が発生した場合には速やかに対応を行い、データについては可能な範囲内での修復支援を行うこと。

- ④冊子もしくはPDF データによる機能説明及び運用手順マニュアルの提供があること。
- ⑤プログラム媒体の紛失や破損時には、一定の条件のもとに無償にて再提供すること。
- ⑥操作研修及び職員への指導を2回実施すること。

3. マスタ関連

●管理施設関連

- ①給食センターや単独調理場など、複数の施設を登録できること。
- ②学区分別の基準値や食品構成別の目標量を週報等の提出用・独自分析用など複数登録できること。
- ③施設ごとに献立グループや見積集計グループの設定ができること。
- ④調理施設単位で小学・中学といった複数の区分管理が可能であり、使用者側で対象受配校の設定・編集が自由にできること。
- ⑤基準学区分からの全体換算率と、指定学年を基準とした学年毎の一人分量の換算率を設定できること。
- ⑥各校に在籍するアレルギー児童生徒対象者を登録し、該当食品アレルギー項目をそれぞれに設定できること。
- ⑦給食物資の発注業者に関するマスタ（正式名称・略称・連絡先等）が登録できること。

●食品マスタ関連

- ①「日本食品標準成分表2020（8訂）」に収録されている食品の栄養価・廃棄率が登録されており、改訂には順次対応できること。
- ②任意番号（群番号及び食品番号）を指定して食品を新規登録できること。また、枝番を用いて追加できること。
- ③既存に登録されている食品マスタの登録内容を参照複写して、別番号の食品が作成できること。
- ④「日本食品標準成分表」の食品群とは別に、独自の群名称を登録して食品管理できること。
- ⑤食品アレルギー表示対象28品目が初期登録の該当食品に設定済みであり、品目の追加ができること。
- ⑥アレルギー項目ごとに、画面表示・帳票出力の可否や表示マークの設定ができること。
- ⑦複数の名称（正式名・献立用など）や検索コード、規格、産地区分、配送条件コメント、6つの基礎食品群、構成食品（配合比率など）が設定・登録できること。

- ⑧発注量の端数処理方法（小数1～3 位、切捨・切上・四捨五入）や納品日・納品時間が設定登録できること。
- ⑨複数単位とその内容量・予定単価設定が行え、指定した単位に基づいた発注計算が自動的に行われること。
- ⑩クラス総数に応じた発注数算出（クラス発注）の対象可否を設定できること。
- ⑪食品ごとに施設別の基本業者設定や、見積時の使用量合算計算の可否設定が行えること。
- ⑫見積分類や条件コメント、契約区分（月・学期・半期・年間など）の設定ができること。
- ⑬マスタを食品群別で一覧画面表示し、設定項目内容（単価・アレルギー設定含む）の確認及び編集登録を一括で行えること。

●料理マスタ関連

- ①週報調理形態に準じた料理情報の登録管理ができること。
- ②料理それぞれに学区分ごとの一人分量（小学・中学など）を設定できること。
- ③検索性文字や食品の切り方・調理指示内容、釜割時の使用釜数などの登録ができること。
- ④登録済の料理データを参照編集し、別の新規料理として追加登録することが可能なこと。
- ⑤料理データを検索性文字や名称・使用食品・和洋中区分などから検索できること。
- ⑥料理単位の栄養価を確認しながら内容の調整等ができること。
- ⑦登録料理に使用している任意食品を抽出表示し、一括で別食品に変換できること。
- ⑧複数施設で利用できる共通料理と、各施設独自の専用料理を区別して登録できること。

4. 献立管理

- ①基本(原案)献立と予定献立を分けて作成できること。
- ②原案献立は月単位で作成することができ、献立グループ別に提供予定日を設定して複数施設へ一括展開できること。
- ③1日に複数種類の献立作成に対応できること。
- ④過去の原案献立や予定献立を任意指定して参照複写利用できること。
- ⑤月単位のカレンダー形式画面にて、献立内容の編集や行事予定・主要栄養価の確認（日単位、月平均）が行えること。
- ⑥食品ごとに予定単価が登録でき、1 日単位の予定金額と1 食単価が自動計算表示されること。
- ⑦使用している食品の予定単価を月単位でマスタ登録されている単価や月間・学期の

契約単価に更新できること。

⑧調理指示や切り方は料理マスタの登録内容が反映され、直接手入力で編集することもできること。

⑨基準学区分の一人分量を入力することで換算率に応じた分量が自動計算され、任意編集もできること。

⑩学校給食センターのように1 施設で複数学区を管理する場合、1 画面で各学区の一人分量が調整できること。

⑪学区分単位で一部異なる料理が存在した場合でも対応できること。

Ex. デザート 小学校：みかんゼリー 中学校：プリン

⑫一人分量単位がg 以外で換算を加味せず入力を行う場合は、学区分共通の内容量で入力するか、学区分別（小学校の学年別など）に内容量や個数を入力するかを選択できること。

⑬献立全体もしくは料理別に指定した乗率で一人分量の一括調整が行えること。

⑭食品マスタを利用して、料理内容を作成しながら献立登録ができること。

（料理マスタの読込以外でも献立入力が可能なこと）

⑮登録済の料理マスタに依存することなく名称編集や食品・分量の変更が自由に行えること。

⑯献立入力編集や料理マスタの選択時に、各食品に該当するアレルギー項目を確認しながら行えること。

⑰日単位・週単位などで献立日の入替ができること。

⑱指定した食品を予定献立から抽出表示し、一括で別食品への置き換え・削除・分量変更ができること。

⑲指定した料理の過去登録献立日を抽出表示し、その中から選択料理のみを献立データへ複写利用できること。

⑳期間指定もしくは1 日単位で過去データからの複写が行えること。また他施設の献立データを同様に複写できること。

5. 食数管理

●基本食数

①各学校の学年・クラス・職員室などの区分ごとに登録できること。

②変更履歴管理が行え、未来の基本食数変更とその適用開始日の登録が可能であること。

③クラス担任と職員室を区別して登録でき、クラス担任を該当学年の分量にて使用量計算する設定が可能なこと。

●予定食数

①基本食数を確認しながら予定食数の増減や学校・学年・クラス単位の中止設定が行

えること。

②指定した学校の予定食数を日毎もしくは月単位一覧形式にて編集できること。

③指定した条件（期間や曜日指定・対象の学校・学年・クラスなど）にて食数増減や中止設定を一括で登録できること。

6. 発注管理

●見積・入札

①契約区分及び見積分類ごとに見積書が作成できること。

②契約区分ごとの決定業者及び単価を登録することで、発注情報に反映できること。
見積グループを指定して複数に同一情報を反映することも可能なこと。

③過去の契約登録情報を参照複写して登録することが可能なこと。

④見積書に見本品の提出有無の表示が可能なこと。

⑤期間契約を行わない（入札処理を行わない）食品について、発注業者や単価を指定した任意期間で一括変更・登録できる機能があること。

●発注編集

①日々発注する食品と一定期間をまとめて発注する食品を分けて編集ができること。

②任意期間の食品の発注量、単位、納品日等を1画面にて編集可能で、業者が指定されていない食品を抽出できること。

③発注量の集計は、管理している学区分（小学校・中学校など）ごとに行われ、編集可能なこと。

また総合計量への直接編集も行え、各明細は整合性が保たれるよう自動計算されること。

④まとめ発注食品にて、月内の同一食品の発注量合算集計が自動で可能なこと。

また、手動で集計期間を指定して分割納品設定が可能なこと。

⑤発注情報登録後であっても、予定献立への食品追加・変更や一人分量調整が可能なこと。なお、調整後には、再計算対象食品が判別でき変更対象外食品の登録内容が保持されること。

⑥発注先業者、単価は自由に編集することが可能なこと。基本業者や入札処理で設定済の発注業者であっても任意に変更することができること。

⑦調理施設ごとに同一食品であっても異なる業者の設定が可能なこと。

⑧任意設定により受配校のクラス総数による発注量算出（クラス発注）が可能なこと。

⑨予定献立にない食品を発注することができること。

7. 釜割業務

●釜割編集

①学校配送順を設定して、釜割表を自動作成できること。また任意で釜の割当編集が行えること。

その際の釜食数は、予定食数の編集内容を反映して行えること。

②発注情報を元に、料理の使用釜数に基づいた発注量釜割表を作成できること。

③釜別の食品発注量の算出方法は釜数に応じた平均割と、釜の割当対象校を任意に指定した食数割の双方に対応できること。

④釜ごとに算出された発注量の編集や料理ごとの使用釜数を任意で切り替えることができること。

8. 実績管理

●実績処理

①予定献立や発注情報を元に最終提供食数や購入量・単価及び業者・食品産地・料理毎の残食量を編集登録が可能なこと。

②実提供食数と実績使用量もしくは購入量から算出した純一人分量に対する栄養価確認ができること。

9. 帳票管理

●帳票管理全般

①用紙サイズ（A3・B4・A4）や拡大縮小率を指定して印刷が行え、印刷イメージの確認やExcel ファイル出力が可能なこと。

●献立関連帳票

①献立原案一覧

カレンダー形式にて料理名や栄養価（平均）が確認できること。

②週間献立表

週間単位で日付別に料理名・食品名・分量を確認できること。なお、土日に献立登録がある場合には出力するかどうか選択できること。

③月間献立表（配布用）

1ヶ月単位で日毎の献立内容とその使用食品、日単位の主要栄養価が確認できること。

3色分けと6色分けに対応し、料理別にどの項目に該当しているか確認できること。

調味料などその他食品の印字の有無選択ができること。

アレルギー表示を選択できること（全アレルギー・表示設定のみ・アレルギー管理対象個人指定など）

④献立別使用量表

日ごとの食品使用量を献立ごとに一覧表で確認できること。

●アレルギー対応関連

①アレルギー献立表

日別・週間・月別に料理名・食品名とその一人分量とアレルギー該当食品（共通・個人別）が確認できること。

②アレルギー対応確認表

調理場・学校・個人別にて、指定期間内のアレルギー対象食品と該当料理などを一覧で確認できること。

③アレルギー食物対応カード

個人情報管理に登録されている情報を元に、アレルギー該当料理名とそのアレルゲン等の情報を記載したカードを個人別及び料理ごとで作成できること。

●食数関連帳票

①給食人数表

日別・学校単位で、学年及び学級・職員の変更（増減）・予定の食数が確認できること。

②月間食数表

施設別・月単位・学校単位で、日付・学年及び学級の予定食数とその総合計が確認できること。

●見積関連帳票

①見積書

見積分類及び契約種類ごとの見積書が作成できること。

②入札結果一覧

食品別に登録した決定業者とその単価が確認できること。

●発注関連帳票

①物資発注書

学区分明細の印字有無を選択して業者別発注書が作成できること。

該当する食品の納品日・納品時間・使用日・発注量・規格等が確認できること。

②食品使用予定一覧

月単位で、範囲指定した食品について日別予定使用量とその合計が確認できること。

③業者別購入食品明細表

食品購入業者ごとで、日別に食品・発注量・単価・金額の明細と総合計が確認できること。

④物資検収表

納品日単位にて納品時間・納入業者別の食品名・発注量・規格及び各食品の検収項目欄が印字され、検収項目の印字内容や幅を任意設定できる機能を実装していること。

●調理関連帳票

①調理用献立表

月単位で日毎の料理名・食品名とその一人分量・アレルギー該当食品が確認できること。

②調理指示書

日毎の調理指示書が作成でき、各調理施設に合わせて一人分量・使用量・発注量・総合計など必要な項目を使用者側が指定して印字可能なこと。

③釜別発注量表

料理別に使用釜数に応じた食品発注量と発注業者を確認できること。

④検食簿

提供した料理別の評価を記入できる欄があること。なお、項目及び評価の文言を使用者側にて自由に変更できること。

⑤保存食日誌

献立内容における保存食対象の食品及び調理済の料理名称と使用釜番号が確認でき、それぞれの採取情報を記入できること。

●栄養管理帳票

①栄養日報

料理名とその使用食品について、一人分量・使用量・主要栄養価・食品単価合計金額等が確認できること。

②栄養月報

日別の料理名及び主要栄養価と合計に対する平均・充足率や一人単価を確認できること。

③栄養推移表

年単位で月別の実施日数・主要栄養価合計と年平均が確認できること。

④月間摂取量一覧

日別・食品構成別に一人当たり摂取量とその合計平均・基準値からの充足率が確認できること。

●統計関連帳票

①期間栄養集計表

任意指定した期間の一人当たり平均摂取栄養価や食品構成別平均摂取量・給食人数などが確認できること。

②使用食品推移表

食品ごとの月別使用量と金額合計や一人当たりの単価が確認できること。

●報告関連帳票

①学校給食栄養報告書（週報）

文科省様式の週報が出力できること。